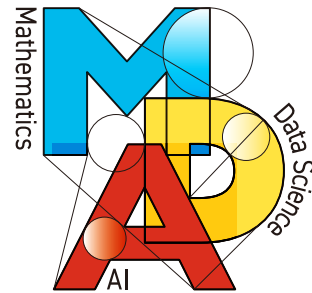


データサイエンス 応用基礎プログラム



筑波大学の数理・データサイエンス・AI(MDA)教育プログラム

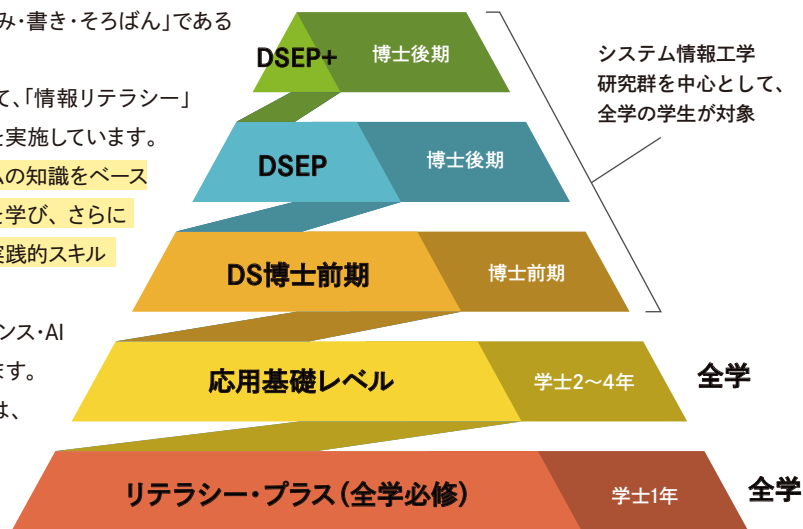
データサイエンス応用基礎プログラムは、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIに関する教育プログラムです。

筑波大学では、「データサイエンス・リテラシープログラム」として、「情報リテラシー」と「データサイエンス」(全学一年次の必修科目のうちの2科目)を実施しています。

「データサイエンス応用基礎プログラム」は、リテラシープログラムの知識をベースに、AI・データサイエンスに関する基本的概念と手法、応用例を学び、さらに演習やプロジェクト型学習(Project-Based Learning)を通して実践的スキルを習得することを目的としたプログラムです。

データから意味を抽出して有効に活用する能力や、データサイエンス・AIを活用して課題解決につなげる能力を身に付けることを目的とします。

「データサイエンス応用基礎プログラム」を修了するためには、「データサイエンス・リテラシープログラム」に加え、【数学基礎】、【プログラミング基礎】、【AI・データサイエンス実践】に該当する科目をそれぞれ1単位以上修得する必要があります。



学士課程から博士後期課程にいたる全学的なMDA教育の体制を構築しています。

データサイエンス応用基礎プログラム修了認定の流れ



「データサイエンス・リテラシープログラム」の修了
【数学基礎】の単位修得
【プログラミング基礎】の単位修得
【AI・データサイエンス実践】の単位修得

該当講義
リストはHPで
チェック!

修了証明書
(オープンバッジ)の
発行手続き

※令和7年度以降(予定)

データサイエンス
応用基礎プログラム
修了!

学習効果に
加えてこんな
メリットも

データサイエンス応用基礎プログラム 受講のメリット

Point

【AI・データサイエンス実践】の科目は、各学類の専門分野に繋がる入門系の実践科目を指定しており、そのまま各専門分野の学修に繋がります。

Point

修了認定のオープンバッジ(デジタル証明・認証)を取得でき、履歴書などでアピールに使えます。

Point

経済産業省が「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に賛同する企業等のサポーター活動("MDASH SUPPORTERS")を推進しています。

お問い合わせ

プログラム内容等のご相談

MDA教育推進室(3A102)
mdainfo@un.tsukuba.ac.jp

手続き等のご相談

教育推進課教務グループ
kyomu-group@un.tsukuba.ac.jp

Web

<https://www.mda.edu.tsukuba.ac.jp>

